

# 関電 青森市に事業所

## 料金関連業務、6月開設



基本協定を締結した（右から）青森県の葛西崇商工労働部長、関西電力の月山将常務執行役員、フューチャー・コミュニケーションズの床田宗隆社長、青森市の小野寺晃彦市長＝23日、青森市

関西電力は23日、電力・ガス小売り自由化の進展に伴って増加する料金関連業務について、青森市に新設する「青森ヒリングサポートセンター」に移管するため、6月のセンター開設に向けた基本協定を青森県、同市、運営委託企業と締結した。関電が青森県内に事業所を設けるのは初めて。地元から70人程度の雇用を予定している。

関電は現在、料金の口座振替やクレジット決済に関わるデータ登録業務を、エリア内の兵庫県に設置する「業務集中センター」で行っている。電気やガスの販売事業がさらに拡大すれば、同センターが手狭にな

るため、「粘り強く勤勉な県民性」（月山将常務執行役員）に着目して立地を決めたという。

実際のセンター運営は、関電と取引実績があるフューチャー・コミュニケーションズ（大阪市、床田宗隆社長）が担い、関電とともに青森県と青森市の誘致企業になる。同日の調印式で月山氏は「地域振興に貢献できるよう、青森の皆さまと手を携えて取り組みたい」と強調した。

事務や顧客対応に特化した同様の事業所は、中部電力も昨年から県内に進出させている。

（藤野武）